

丹後わかもの夢実現プロジェクト

丹後で"暮らす""働く"を 楽しくするためのヒントを探る vol.2 ~地域に根付く"しごと"をつくる~

合同会社カミヤヅラボ

カーリー&ゲストハウス HATAYA.

小嶋庵

2024.02.04 (日)
15:00-17:00

at アグリセンター大宮

京丹後市大宮町口大野228の1

主催：京都府丹後広域振興局 企画：丹後暮らし探求舎



寺田 俊介



五井 梨奈



小嶋 俊

丹後広域振興局では、若者や女性が丹後に住みたい、戻って来たいと思える地域づくりを目指し、若者の夢や希望の実現を後押しする「丹後わかもの夢実現プロジェクト」を進めています。

令和6年2月4日（日）には、丹後地域が若い世代にとって選んでもらえる、住み続けてもらえる地域になるためには、どんなことが大切なのか、本音で語れる場を設けようと、座談会を開催しました。

今回は、丹後に移住し、地域の人たちと一緒に丹後の新たな魅力スポットを作っている3人をゲストにお呼びしました。

五井 梨奈

カーリー&ゲストハウス
HATAYA.



小嶋 俊
小嶋庵



寺田 俊介

合同会社 カミヤヅラボ



それぞれ、魅力的なスポットを生み出すまでの経過や、“暮らす”“働く”場として丹後を選んだきっかけ、思いを語っていただいた後、参加者からの質問を織り交ぜながら、地域との関わり方、地域に根付く“しごと”の作り方などについて掘り下げました。

【クロストーク（一部抜粋）】

Q. 都会のように、人にあふれている地域ではないところで「なりわい」を続けていくために、大切にされていることは？

（五井）“地元の方とやっていく”というのは、楽しんで取り組むためにも大事にしていることかなと。

（小嶋）自分がワクワクする方、面白そうって思う方に、体を持って行って、続けていけたらなと。

（寺田）「こんなところにお客さんこうへんで」って言われる。でも、それも伸びしろだと思うんですよね。

Q. 地域から、どんな声かけがあると嬉しいですか？

（五井）（新しい人が地域に入ってくることが）本当に嬉しいんだよって、言っていただけることが、一番、嬉しかったですね。

Q. 地域での“しごと”の作り方みたいなものがあるのかなと思いますが、どうでしょうか

（五井）口コミとか、ネットワークがめちゃくちゃ早いなと思います。（地元の声を）ちゃんと聞いて、それに対して真摯に1つ1つクリアしていけば、ちゃんとお客さんも来てくださいますし。すごくやりやすいのが、地域かなと今は思ってます。

（寺田）地方に来たら、副業・兼業がメインなので、1箇所でも20万を狙わなくて良くなったかなと思います。たとえば5万円の仕事を7個とか6個してしまえばそれで35万ももらえるしとか。

（小嶋）とにかく1回やってみないと分からないかなと。思うように1回やってみて、そっから、「次じゃあこうしていこう」の繰り返しですね。僕も、何が正しいかとかも、わかんないんで。

Q. どんな丹後だったら、これから住む人が暮らしやすい、働きやすいと思いますか？

（五井）私にとっては、「受け入れてくれる地域」というのが一番大事でした。原石みたいな、本当に素敵な方々が沢山いるので、そういうのが発露できるような職場が増えるといいなと思いますし、そういう1つであろうと思ってます。

（小嶋）都会型の働き方というかそういうのが、本当にちょっと無理というか、しんどいなというのがあって、だから（丹後で）この生活ができてる時点で、僕ら結構、運がいいんやろうなと思ってるんですよ。

（寺田）田舎に仕事ないっていうのは、都市伝説だと思ってるんですよ。意外に仕事ってあるなと思っていて。若者が何かしやすいうような動き方ができる地域がやっぱり強いのかなって思うので、そういったのが1個でも増えてくれたらいいし、移住者を今まで受け入れてない地域の方にこそ、こういった話は聞いていただければいいなと思ってます。

～会場との質疑応答・クロストークは、約1時間続きました～

【まとめ（ファシリテーター：丹後暮らし探究舎坂田さん）】

地域での仕事づくりは、資金面でも雇用面でも、リスク小さく始めることができるのがメリット。「他力本願」で人を頼りながら、つながりを広げていくことが大切。「地域」と「稼ぐ」「働く」は、相反するキーワードのようにとらえられてしまうこともあるが、うまく組み合わせることで、広がりが見えてくるのでは。